

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-25 シルバー人材センター支援事業 □支援部門						
主管課	高齢者いきいき課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	働くことを通じて社会に貢献し、健康と生きがい及び社会参加を図るため。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人			
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数	638人	671人	715人			
運営資源状況	決算値(千円)	49,356	52,818	55,722			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	49,356	52,818	55,722			
	人員配置数	0.3人	0.3人	0.3人			
	人件費(千円)	2,377	2,476	2,739			
	協働のパートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	51,733	55,294	58,461			
	市民1人当りの経費(円)	291	312	330			
	対象者1人当りの経費(円)	81,086	82,405	81,764			
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団 体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
シルバー人材センター会員人数		目標値	900人				
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	741人	715人	671人	638人	

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止						
シルバー人材センター 支援事業	44,986	シルバー人材センター 支援事業	49,176	今後の 方向性	B	理由 ・手法	シルバー人材センターは、高齢者が働くことを通じて生きがいを得ることに貢献する団体であることから、引き続き支援するが、補助金等については適正な執行に努める。			
シルバー人材センター 事務所移設・運営事業	4,370									

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	補助金の適正化										
課題解決のための取組	事務所賃料や人件費など補助対象となる経費について法人と協議し、補助金支出の適正化に努めた。					取組の結果	■解決 □未解決				
未解決の課題	事業の合理化や事務局体制のあり方、会員数の拡大など法人運営が自立していくような支援の方法										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	高齢者の生きがいづくりとしてシルバー人材センターは重要な役割を担っているが、法人ができるだけ自立した運営に移行できるように、適正な補助金のあり方・支援の方法等について検討を進める。						A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡ B		※□事業完了		
評価者名	高齢者いきいき課担当課長					小宮 純					

